



かとう みちや

加藤 道也 教授

英国バーミンガム大学大学院歴史学研究科博士課程経済史専攻修了
PhD in Economic History, University of Birmingham

専門分野 日本経済史、経済史、社会政策史、日本帝国史

Q1

担当科目を
教えてください。

経済史

経済史の講義では、産業革命期以降の日本と西洋諸国の経済の歴史をお話ししています。日本と西洋諸国とでは、経済の歴史の何が共通でどこが異なるのか、過去の事例と現在の事例の共通点と相違点は何か、などの比較の視点を重視しながら講義しています。

日本経済史

日本経済史の講義では、江戸時代から現在までの日本経済の歴史を講じています。経済に関しては、異なる時代にも同様の政策がしばしば展開されますが、時に全く異なった政策が展開されることもあり興味深いものです。こうした歴史の論理を学ぶための講義です。

演習(ゼミナール): 経済史から考える現代経済

現在私たちが直面している経済問題の解決には、様々な国や時代の経済問題に当時の人々がどのように対応し、その結果どうなったのか、といった教訓を学ぶことが大変役立ちます。演習では、現代の経済問題について自分で説得力のある説明ができる力を養います。

Q2

研究のテーマは
何ですか？

植民地官僚のイギリス帝国認識

戦前の日本がアジア地域に有していた植民地の統治に従事した植民地官僚について研究しています。彼らは同じく植民地帝国であったイギリス帝国を参考にしましたが、何をイギリスから学んだのか、2つの帝国の共通点と相違点は何か、などに関心を持っています。

わたしのおすすめ本

経済学のすすめ—人文知と批判精神の復権

著 者 佐和隆光
出版社 岩波書店

出版 2016年
ISBN 978-4-00-431622-0

「制度化」され何者が語っても「正しい」かのように振舞うに至った「経済学」は、「人文知」に基づく批判精神を備えた「モラルサイエンス」として再興されるべきだと主張していて興味深いです。



Q3

研究者って どんな仕事ですか？

様々な文献や資料を読んだりしながら、あれこれと考え、いろいろな発見をして論文を書いたり発表をしたりする仕事です。このような仕事は、何はともあれとても好きなことなので、こうした仕事に就くことができたことは大変幸運でありがたいことだと思います。

Q&A 先生ってどんな人？

リフレッシュしたいときには何をしていますか？

ピアノを弾いています。子供の練習の際を狙って楽しんでいます、その間は他のことを忘れて集中できます。

学生のころに熱中していたことは何ですか？

語学学習です。いつ使うか分からない言語をコツコツ覚え、忘れ、覚え直す、というのは大変楽しい体験です。

大阪産業大学キャンパスや大学周辺でおすすめのスポットは？

ポップタウン住道の「ラーメン荘おもしろい方へ」です。「ラーメン二郎」系の太麺の店で美味しいですよ。

先生の1枚



「とっておきの一枚」は、昨年度の卒業式の際に、ゼミの卒業生に撮ってもらったものです。ホッとした顔をしています。皆さん、無事卒業してくれてありがとう！

学生みなさんへ
ひとこと

社会人に比べると学生時代は圧倒的に自由に時間が使えますので、役に立つかどうかはさておき、自分がやっていて本当に楽しいと思えることをぜひ見つけてください。そういうものを見つけられたかどうかで、その後の人生が違ってくると思います。自信をもって続けられることを見つけると自信が持てるようになり、同じような姿勢の他の人のことも尊重できるようになります。好きこそものの上手なれ、笑う門には福来たる、です。頑張ってください。